# ≪施策体系≫

基本施策	施 策	個別施策
		① 教育環境の整備
1. 幼児教育	(1) 就学前教育の充実	② 教育内容の充実
		③ 子育て支援機能の充実
		① 「生きる力」の育成
		② 健康な児童・生徒の育成
		③ 特別支援教育の充実
	(1) 教育内容の充実	④ 地域を教材にする体験的学習の推進
		⑤ 保・幼、小、中の連携
		⑥ 高度情報化、国際化への対応
		⑦ 教職員研修の充実
2. 学校教育		① 学校施設の整備
		② 教育相談の充実
	(2) 教育環境の充実	③ 学校や地域の安全対策の強化
	-	④ 地域と連携する学校運営
		⑤ 家庭・地域・学校の連携による地域教育力の向上
	高等学校や特別支援学校と	① 高等学校が有する教育資源の活用
	l (S) の連携	② 特別支援学校と連携した特別支援教育の推進
		① 育成関連組織の連携強化
	   (1) 育成体制の充実	② 子育て支援対策やコミュニティ活動との連携
		③ 地域環境の改善
3. 青少年育成		④ 青少年問題相談体制の充実
5. 自少平自风		① ボランティアなど社会参加、世代間交流の促進
	   (2) 育成活動の推進	② 安全・安心な子どもの居場所づくり
	(乙) 有场伯勒(沙) 医连	③ 子どもたちの自主企画、運営事業の促進
		④ 地域資源を活かした体験学習活動の促進
		① 「生涯学習推進計画」の推進
		② 推進母体組織の機能強化
	(1) 生涯学習推進体制の充実	③ 学習機会の拡充
4. 生涯学習		④ 学習活動団体の育成と相互連携の推進
4. 生涯学省		⑤ 指導者の育成と確保
		① 関連施設の整備
	(2) 生涯学習環境の充実	② 施設の管理運営の充実
		③ 関連施設の有効活用

基本施策	施策	個別施策
		① 学習情報の提供方法の充実
		② 学習プログラムの提供
	(3) 生涯学習活動の支援	③ 自主企画運営講座の活動支援
4. 生涯学習		④ まちづくり、地域課題対応の学習企画の推進
4. 生涯子首		⑤ 生涯学習を通じた交流
		① 図書サービスの充実
	(4) 図書施設の充実	② 児童サービス及び各種団体との協力
		③ 地域の情報拠点としての基盤整備
		① 生涯スポーツ振興の指針
	(4) フポーツ世生は制の充中	② 推進組織の機能分担と連携の強化
	(1) スポーツ推進体制の充実	③ 活動団体の育成
		④ 指導者の育成と確保
		① スポーツ施設の機能整備
5. 生涯スポーツ	(2) スポーツ施設の充実	② 施設管理運営体制の充実
_		③ 健康増進や観光との連携
		① 生涯スポーツの普及
	(2) フポール活動の伊佐	② 競技スポーツの振興
	(3) スポーツ活動の促進	③ スポーツ交流の推進
		④ スポーツ合宿の受け入れ推進
		① 文化活動施設の整備
	(1) 地域文化振興体制の充実	② 文化活動団体の育成
		③ 地域文化活動情報の発信強化
		① 芸術文化事業の推進
	(2) 地域立化活動の主控	② 活動団体の発表と交流機会の充実
	(2) 地域文化活動の支援	③ 子どもたちの文化芸術体験企画の強化
6. 地域文化		④ 市内外の文化交流企画の推進
		① 郷土の文化資源の掘り起こし
	② 文化財などの調査・保護・活用	
	(2) 細土立ル・世代の四个に細茎	③ 郷土文化の情報提供と公開
	(3) 郷土文化・芸能の保全と継承	④ 郷土芸能の継承支援
		⑤ 郷土学習活動の推進
		⑥ 専門職員の育成

# 1. 幼児教育



## ◇ 現状と課題

- 市内の幼稚園は、市立幼稚園 4 園、私立幼稚園 1 園あり、令和 2 年4月から季美の森幼稚園が幼稚園型認定こども園に移行しました。
- 〇 共働き家庭の増加などから、長時間保育を希望する保護者が増えており、また、幼児教育・保育の 無償化による私立幼稚園希望者の増加もあって公立幼稚園の希望者は減少しています。
- 公立幼稚園はすべての園で定員割れが生じており、1クラス10人以下の適切な集団規模を確保できない学齢が生じている園もあります。また、施設の老朽化といった施設面での課題も抱えており、 平成30年8月に策定した「公立幼稚園・公立保育所のあり方」において、幼稚園の再編や、保育所との統合による認定こども園への移行の検討も必要となっています。
- O 核家族化の進行などにより、家庭における教育力の低下が指摘されているなかで、就学前教育の充実に向けた取り組みを推進するとともに、子育てに不安を抱える保護者の相談体制を充実させる必要があります。
- 子どもの発達や学びの連続性を保障するために、幼稚園・保育所・小学校の情報共有や相互理解を 促進するなど積極的な連携を図る必要があります。

## ◇ 満足度の推移

	満足度と順位					
施策分野	前回調査 (平成26年度)		今回調査 (令和元年度)		差異	
幼児教育	2.55	6位/46	2.58	8位/46	+0.03	

(資料) 市民アンケート調査結果 (平成26年度・令和元年度実施分)

指 標	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和 7 年度)	備考
「幼児教育」に満足している 市民の割合	59.4%	上昇	市民アンケートで 満足と回答した割合
再編方針にもとづく 認定こども園の開設数【再掲】	_	1 園	

# 施策(1) 就学前教育の充実

#### ① 教育環境の整備

● 各幼稚園施設の補修・改修の実施や、保育用備品、図書備品の計画的な購入などを通じて、各幼稚園の教育環境の整備を図ります。

#### ② 教育内容の充実

- 生きる力を育む教育など幼稚園教育要領にもとづく教育課程の充実、特別支援教育の充実を図ります。
- 自然や農業など地域環境を活かした体験教育を推進します。
- 幼稚園から小学校への円滑な移行を図るための小学校との情報交換や交流を進めます。
- 幼稚園職員と保育所職員の研修や情報交換などを進め、連携を図ります。【再掲】

## ③ 子育て支援機能の充実

- 認定こども園については、公立幼稚園・公立保育所の再編方針にもとづき、子どもに質の高い教育・ 保育を提供するため、大網、増穂、白里の3つの地区ごとに、再編に関する検討を進めます。【再掲】
- 幼稚園施設の開放や子育て相談を実施し、幼児教育のセンターとしての機能強化を進めます。
- 家庭教育学級、学習機会の拡充など家庭教育の支援、幼稚園における子育て支援を推進します。

# 2. 学校教育







## ◇ 現状と課題

- 市内には小学校7校、中学校3校、県立高校1校、県立特別支援学校1校があります。
- O GIGA スクール構想をはじめとする ICT の活用、グローバル化に対応する国際教育など、子ども たちを取り巻く環境が変化するなかで、子どもたちへの教育の一層の充実と教育水準の維持向上が求められています。
- 読書活動や心の教育、地域の力を活かした教育活動の推進、さらに教職員の資質・能力の向上など を継続・発展的に推進していく必要があります。
- 個別の支援が必要な児童・生徒は増加傾向にあり、一人ひとりに対する支援の充実が求められています。
- 〇 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、「地域に開かれた学校」づくりを進めるとともに、家庭・地域・学校が連携を深め、地域ぐるみで子どもたちを育成していく地域の教育力の向上を図っていくことが必要です。

# ◇ 満足度の推移

		満足度と順位					
施策分野	前回調査 (平成26年度)		今回調査 (令和元年度)		差異		
学校教育	2.53	7位/46	2.61	7位/46	+0.08		

(資料) 市民アンケート調査結果 (平成 26 年度・令和元年度実施分)

指 標	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和 7 年度)	備考
学校図書標準の達成率 100%の学校数	8校	10 校	学校規模に応じた 図書整備の目安
学校が楽しいと感じている児童 ・生徒の割合が 90%以上の校数	5 校	10 校	
コミュニティ・スクールの導入校数	_	1 校	

# 施策(1) 教育内容の充実

#### ① 「生きる力」の育成

- 学校教育の指針となる「学校教育指導の指針」を策定し、教育を推進します。
- 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育てる取り組みを推進します。
- 学習指導要領や教育課題に対応した教材備品の計画的な購入を実施し、きめ細かな指導を確保する 少人数指導の充実を図ります。
- 「朝の読書」を充実させ、読書活動の推進を図ります。
- 「豊かな心」を育む道徳教育を推進します。
- 運動に親しむ資質・能力の育成を図り、体力の向上を図ります。

#### ② 健康な児童・生徒の育成

- 学校給食の安全確保・充実を図るとともに、千産千消の推進、望ましい食習慣を身につける食育を推進します。
- 家庭での食生活や基本的生活習慣の改善を促進します。
- 児童・生徒の健康の保持増進のため、各種の健康診断を適切に実施していくとともに、健康に対する 意識の啓発を図ります。

#### ③ 特別支援教育の充実

- 特別な支援を必要とする児童・生徒のニーズに応じた支援の充実のため、特別支援教育支援員の適正 な配置とともに、力量を向上させるための研修の実施を進めます。
- 特別支援教育ネットによる関係機関との連携を進めます。

#### ④ 地域を教材にする体験的学習の推進

- 環境、福祉、農業など地域資源を教材にする体験的学習、郷土学習を推進します。
- 主体的な進路選択・決定の基礎となるキャリア教育の推進を図ります。

#### ⑤ 保・幼、小、中の連携

● 発達の連続性を確保する情報共有など連携の充実を図ります。

#### ⑥ 高度情報化、国際化への対応

- 学校の情報基盤の整備を図り、ICT を活用した情報教育を積極的に推進します。
- 小学校での外国語科及び外国語活動の一層の充実のため、英語指導助手(ALT)の増員を検討するなど、ALT の活用による英語教育、国際教育の充実を進めます。
- GIGA スクール構想の実現をめざし、児童・生徒一人ひとりに端末等を整備するほか、校内通信ネットワークの整備を進めます。
- 児童・生徒の学習の基盤となる情報活用能力を育成するため、タブレット型端末を活用したプログラミング教育等を推進します。

#### ⑦ 教職員研修の充実

● 教職員の力量を高める指導・課題研修などの充実・強化を図ります。

# 施策(2) 教育環境の充実

#### ① 学校施設の整備

● 良好な教育環境を確保するため、国の補助制度を活用したトイレの洋式化を推進するとともに、学校施設や設備の維持管理、更新を図ります。

#### ② 教育相談の充実

- 不登校やいじめなど、児童・生徒や保護者の学校に関わる悩みに適時適切に対応するため、スクールカウンセラーなどとの連携による教育相談・カウンセリングを充実し、迅速な対応を進めます。
- 適応指導教室(ハートフルさんぶ)などとの連携により、長期欠席児童・生徒の解消を進めます。

#### ③ 学校や地域の安全対策の強化

- 通学路の点検など地域環境の整備に努めるとともに、見守り活動など地域ボランティア活動と連携 し、安全対策を推進します。
- 災害緊急情報配信システム等により、迅速な情報配信を行い、児童・生徒の安全の向上に努めます。

#### ④ 地域と連携する学校運営

- 学校評議員の活用、学校評価の公表など学校からの情報発信の充実と地域との連携強化による学校 運営を図ります。
- 体験的学習や郷土学習の講師などに地域人材の活用を進めます。
- 地域と一体となって子どもたちを育み、地域の教育力の向上と開かれた学校づくりを実現するため、 コミュニティ・スクールの実施を進めます。

## ⑤ 家庭・地域・学校の連携による地域教育力の向上

- PTA 活動との連携による家庭環境への支援を推進します。
- 子どもたちと地域市民のふれあいなど、各種活動団体の分担と協働により、地域ぐるみで子どもたちを育成していく地域教育力の向上への取り組みを促進します。
- 学校体育施設などの地域活動への開放を進めます。

# 施策(3) 高等学校や特別支援学校との連携

#### ① 高等学校が有する教育資源の活用

● 大網高校の農場での動物心れあい体験や農業体験など、教育資源を活用した連携を図ります。

#### ② 特別支援学校と連携した特別支援教育の推進

● 地域の特別支援教育のセンター的機能を有する大網白里特別支援学校と連携し、教育相談、訪問支援、講師派遣、研修会実施など、特別支援教育の充実を図ります。

# 3. 青少年育成



## ◇ 現状と課題

- 核家族化や地域のつながりの希薄化のほか、ICT技術の発展に伴い、スマートフォン等の普及によるコミュニケーション方法の多様化が進み、青少年を取り巻く環境は急速に変化しています。一方で、SNSでの誹謗中傷など、青少年を巻き込む新たな社会問題も発生しています。
- 青少年相談員連絡協議会や子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウトなどの関連団体を通して青 少年の健全育成活動を推進しています。しかしながら、各種イベントへの小中学生の参加者が減少し ているため、魅力ある企画内容や効果的な広報周知活動が必要となっています。
- O 子どもと大人の橋渡し役となるジュニアリーダーをはじめとして、社会性を育むボランティア活動やリーダーの育成が求められています。
- 放課後子ども教室は、子どもの居場所づくりとして、市内の全小学校7校で実施していますが、引き続き、学童保育との連携を強化していく必要があります。

## ◇ 満足度の推移

		満足度と順位					
施策分野	前回調査 (平成26年度)		今回調査 (令和元年度)		差異		
青少年育成	2.44	13位/46	2.65	6位/46	+0.21		

(資料) 市民アンケート調査結果(平成26年度・令和元年度実施分)

指  標	現状値	目標値 (令和 7 年度)	備考
青少年育成団体と連携した 各種事業の満足度	92.9% (令和元年度)	上昇	各種事業への参加対 象者調査の満足度
青少年と協働した企画及び運営	2事業 (令和2年度)	3事業	成人式実行委員会、 ジュニアリーダーな ど、青少年世代と企 画・運営した事業

## 施策(1) 育成体制の充実

#### ① 育成関連組織の連携強化

● 各種青少年育成団体との連携により、事業運営体制の強化を進めます。

#### ② 子育て支援対策やコミュニティ活動との連携

● 家庭・地域・学校、関係機関・団体など、それぞれの役割の明確化により、子育て支援対策、コミュニティ活動との連携など、青少年の健全育成を図る総合的な施策を推進します。

#### ③ 地域環境の改善

- 学校教育、地域活動と協働した地域ぐるみでの子どもたちの安全対策を推進します。
- 有害な環境の改善とともに、街頭指導、声かけなど地域ぐるみで非行防止を推進します。

#### ④ 青少年問題相談体制の充実

● 小・中学校、高校との情報共有のもと、青少年育成団体や関係機関などと連携した相談体制の充実を図ります。

# 施策(2) 育成活動の推進

#### ① ボランティアなど社会参加、世代間交流の促進

- 青少年の社会性を育むボランティア活動など社会参加を促進します。
- 子ども会活動とコミュニティ活動と連携した世代間交流、家族が一緒に参加する活動を促進します
- 高校生や青年層など若者世代と子どもたちが共同で参画する活動企画の実施を進めます。
- 育成活動への参加者を増やすため、効果的な周知及び内容の充実を図ります。

## ② 安全・安心な子どもの居場所づくり

- 放課後子ども教室を推進するとともに、学童保育との連携を図ります。
- 放課後・休日に利用できるよう社会教育施設などの開放を図り、市民との協働による居場所づくりを 進めます。【再掲】

#### ③ 子どもたちの自主企画、運営事業の促進

- 養成講座によるジュニアリーダーの育成を推進し、子どもたち自らの立案により、自主的に運営する 事業の企画と実施を進めます。
- 育成事業の修了者が、事業で得たことを活かせるような機会の提供を進めます。

#### ④ 地域資源を活かした体験学習活動の促進

● 自然や郷土文化、農業などの地域資源を教材として、青少年期における特色ある体験的な学習活動や 郷土学習を推進します。

# 4. 生涯学習



## ◇ 現状と課題

- 高齢社会の到来、社会の成熟、余暇時間の増大、自己実現意欲の高まりなどにより、さまざまな活動や学習に取り組む市民が増えており、生涯学習環境の充実が必要となっています。
- 趣味的な学習については、自主的な活動が盛んで、自立した運営がされています。一方、市の課題に対応する活動や社会に還元される学習活動は少ないうえ、受動的な学習形態である場合が多く、自主的な学習活動を促進する新たな講座や学習形態が必要となっています。
- 〇 中央公民館、白里公民館、中部コミュニティセンターは、各種講座・教室の開催や公民館活動の場として活用されており、施設の適切な維持管理とともに、市民が利用しやすい運用に努めて行く必要があります。
- 図書施設については、保健文化センター、白里公民館、中部コミュニティセンター内にそれぞれ図書室を設置していますが、不足する収蔵スペースの確保が必要となっています。
- 〇 世代を問わず市民がいきいきと学び、生涯学習を通じて学んだ成果をまちづくりに活かし、地域の 活性化につなげることが求められています。

# ◇ 満足度の推移

	満足度と順位					
施策分野	前回調査 (平成 26 年度)		今回 (令和)	差異		
生涯学習	2.60	5位/46	2.69	5位/46	+0.09	

(資料) 市民アンケート調査結果(平成26年度・令和元年度実施分)

指 標	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和 7 年度)	備考
生涯学習講座の受講生の満足度	92.9%	上昇	
公民館・コミュニティセンター における教室・同好会の利用回数	2,245 🗆	2,550 🗆	
公民館・コミュニティセンター における教室・同好会の参加者数	26,342 人	31,500人	
図書貸出冊数	161,308 冊	170,000 冊	

# 施策(1) 生涯学習推進体制の充実

#### ① 「生涯学習推進計画」の推進

● 「生涯学習推進計画」にもとづき、今後も市民の生活課題、ライフステージ、まちづくり課題に密接な生涯学習を推進します。

#### ② 推進母体組織の機能強化

● 生涯学習推進本部及び生涯学習推進協議会、社会教育委員会議の機能強化を図るとともに、関連する 活動団体組織との機能分担により、生涯学習推進体制の充実を図ります。

#### ③ 学習機会の拡充

- 各種講座、公民館事業など、生涯学習事業内容と運営の強化を図り、今日的な市民の生活課題、まちづくり課題についての学習情報や成果が共有できる機会の拡大を進めます。
- ●「非核平和都市宣言」にもとづいた、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える非核平和事業を推進します。
- 社会教育施設における教室の見直しなどの検討を進めるとともに、今後も市民ニーズに沿った学習活動の場の提供を推進します。

#### ④ 学習活動団体の育成と相互連携の推進

● さまざまな学習課題に対応する活動団体の育成を進め、団体相互の交流、連携した取り組みを促進します。

#### ⑤ 指導者の育成と確保

● 社会教育主事などの養成と配置を図るとともに、生涯学習ボランティアへの支援を進めます。

# 施策(2) 生涯学習環境の充実

#### ① 関連施設の整備

● 既存の社会教育施設の計画的な改修及び維持管理に努めます。

#### ② 施設の管理運営の充実

● 施設の管理運営への市民参画の拡大を図るとともに、学習施設の目的に応じた管理運営体制の最適 化を推進します。

#### ③ 関連施設の有効活用

● 施設利用の予約の利便化などを進めるとともに、施設間情報ネットワークを活かした施設利用予約システムの導入を検討します。

# 施策(3) 生涯学習活動の支援

#### ① 学習情報の提供方法の充実

● 広報紙、ホームページ活用の拡大など、生涯学習案内情報の提供、伝達手段の充実を図ります。

#### ② 学習プログラムの提供

● ライフステージに対応した学習プログラムの企画と学習機会の提供を図ります。

#### ③ 自主企画運営講座の活動支援

● 市民による自主企画講座の募集と活動を支援し、自主運営グループの育成を進めます。

## ④ まちづくり、地域課題対応の学習企画の推進

- 市民との協働、地域活性化、郷土学習機会の提供など、まちづくりに密接な学習活動を推進します。
- 子どもから高齢者まで異世代が参加できる世代間交流を促進する事業を推進します。

#### ⑤ 生涯学習を通じた交流

- 市の自然、郷土文化、産業など地域資源を活用し、市内外の芸術文化、創作活動グループなどが交流 しながら学習する企画を推進します。
- 十枝の森の活用方法について検討します。

# 施策(4) 図書施設の充実

#### ① 図書サービスの充実

- 生涯学習を行う利用者に必要な知識・情報を提供するための施設として、所蔵資料の充実を図ります。
- 文化活動や健康づくりの拠点となる保健文化センターの計画的な改修を進めるとともに、施設の老朽化及び狭あい化のため、書庫棟に相当する蔵書スペースの確保を図り、図書施設の環境改善に努めます。
- 効率的な資料の購入を行うとともに、相互貸借も活用し、市民ニーズに可能な限り応えていけるよう 努めます。
- 図書システムについては、ホームページ内容の充実を図るとともにインターネットによるリクエスト受付などについて検討を進めます。
- 大網駅パブリコ内に設置したブックポストの利用の促進に努めます。

#### ② 児童サービス及び各種団体との協力

- 市民が図書室に親しみを持てるよう、おはなし会、映画会を開催するなど、児童サービスを推進し、 利用の促進を図ります。
- 「子ども読書活動推進計画」にもとづき、子どもの発達段階に応じた読書活動の取り組みを、家庭・ 地域、学校等と連携し推進します。

#### ③ 地域の情報拠点としての基盤整備

● 郷土資料、行政資料などの収集、保管、展示の充実を図ります。

# 5. 生涯スポーツ









## ◇ 現状と課題

- スポーツ協会やスポーツ推進委員、各種スポーツ団体が連携を図りながら、市民スポーツ大会や新春マラソン大会、各種スポーツ大会などを開催しています。
- 大網白里アリーナをはじめ、市営の野球場・サッカー場・テニスコートなどのスポーツ施設がありますが、適切に維持・管理していく必要があります。
- 健康・体力づくりと連携して、年代に応じて誰もが楽しめる生涯スポーツ活動を普及させていくため、「スポーツ推進計画」に沿った取り組みを関係団体と連携して進めていく必要があります。
- スポーツ少年団により、スポーツの振興や体力づくり、心身の健全な育成、スポーツ・レクリエーションなどが行われています。スポーツ少年団の全市的な組織化と育成、団員の拡充と活動種目の拡大を検討するとともに、指導者の養成が必要になっています。
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機としたスポーツ参加への機運の高まりを活かし、 スポーツ振興とともに、スポーツを通した市民の健康・体力づくりを推進することが求められていま す。

## ◇ 満足度の推移

	満足度と順位					
施策分野	前回調査 (平成26年度)		今回 (令和)	差異		
生涯スポーツ	2.40	16位/46	2.52	16位/46	+0.12	

(資料) 市民アンケート調査結果 (平成26年度・令和元年度実施分)

指 標	現状値	目標値 (令和 7 年度)	備考
スポーツ教室受講者数	320 人 (令和元年度)	350人	
市民スポーツ大会参加者数	2,214 人	2.500 1	
門氏スポーク人云参加有数	(令和元年度)	2,500 人	
新春マラソン大会参加者数	847人	1,000 人	
利食マブグノ人云参加有数	(令和元年度)	1,000 🔨	
週1回以上スポーツをした	42.0%	50.0%	
市民の割合(成人)	(令和2年度)	50.0%	
社会体育施設の	267,627人	300,000人	
年間利用者数	(令和元年度)	300,000 🔨	

# 施策(1) スポーツ推進体制の充実

#### ① 生涯スポーツ振興の指針

● 健康増進とスポーツ活動の密接な連携を重視した「スポーツ推進計画」にもとづき、生涯スポーツの 振興を図ります。

#### ② 推進組織の機能分担と連携の強化

- スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団などの機能分担と連携を促進し、生涯スポーツを 推進する組織体制、事業運営の機能強化を図ります。
- 健康づくり、医療・福祉分野の関係団体・機関との連携事業を推進します。

#### ③ 活動団体の育成

● スポーツ推進組織の機能分担にもとづいて、スポーツ活動団体の育成を促進します。

## ④ 指導者の育成と確保

● 講習や研修会などの情報提供と参加を促進し、指導者の養成・確保に努めるとともに、生涯スポーツ 活動支援ボランティアの養成とスポーツリーダーバンクとの連携を図ります。

# 施策(2) スポーツ施設の充実

#### ① スポーツ施設の機能整備

- 利用者が安全に、かつ安心して利用できるよう、大網白里アリーナを含む社会体育施設の適正な維持 管理に努めます。
- 社会体育施設の長期改修計画を策定し、計画的にスポーツ施設の改修を進めます。
- 施設利用の予約の利便化などを進めるとともに、施設間情報ネットワークを活かした施設利用予約システム導入を検討します。【再掲】

#### ② 施設管理運営体制の充実

● 学校開放も含めた利用調整機能を強化するとともに、スポーツ施設の維持管理運営体制を検討します。

#### ③ 健康増進や観光との連携

● 丘陵、田園、海岸に連なる地域を活かしたウォーキングコースの設定など、健康増進や観光との連携に努めます。

# 施策(3) スポーツ活動の促進

#### ① 生涯スポーツの普及

- 健康・体力づくりを重視した各種スポーツ教室を開催するとともに、市民のスポーツ活動を支援します。
- 東京オリンピック・パラリンピック開催を契機としたスポーツ参加への機運醸成を活かし、子どもから高齢者まで、体力づくりやスポーツに対する意識の向上を図ります。
- スポーツ大会などの開催運営への支援を図り、スポーツ活動の促進に努めるとともに、大会参加者の安全面に配慮した大会の実施に努めます。

#### ② 競技スポーツの振興

● スポーツ協会などの運営強化により、選手の育成や団体競技の強化、指導力の向上、各種大会への 出場奨励や大会誘致の推進など、競技スポーツの振興を促進します。

#### ③ スポーツ交流の推進

● 地域間交流などによるスポーツを通じた相互交流を推進します。

#### ④ スポーツ合宿の受け入れ推進

● 高校や大学、企業などのスポーツ団体を受け入れる体制の整備を図り、情報提供を進めます。

# 6. 地域文化





# ◇ 現状と課題

- 地域における文化活動は、生活への潤いと精神的な豊かさをもたらし、本市に対する理解や関心、 郷土愛を高めていく上で、重要な位置づけにあります。
- さまざまな同好会などの文化活動グループや郷土芸能保存会などの活動が行われていますが、関 係者の高齢化が進み、後継者の育成が必要となっています。
- 市内の郷土資料や文化財などを、デジタル博物館により広く公開しています。
- 郷土文化や郷土芸能を若い世代にも継承するため、身近に触れることができる機会の創出が必要 となっています。

## ◇ 満足度の推移

	満足度と順位				
施策分野	前回調査 (平成 26 年度)		今回調査 (令和元年度)		差異
地域文化	2.43	14位/46	2.58	8位/46	+0.15

(資料)市民アンケート調査結果(平成26年度・令和元年度実施分)

指 標	現状値	目標値 (令和 7 年度)	備考
産業文化祭「文化の部」における 来場者数	2,095 人 (平成 30 年度)	2,150人	
文化財を活用した事業数	2 事業 (令和元年度)	3事業	
指定・登録文化財等の数	22 件 (令和元年度)	25件	
デジタル博物館を閲覧(アクセス) した件数【月平均】	20,181 件 (令和元年度)	22,000 件	

# 施策(1) 地域文化振興体制の充実

#### ① 文化活動施設の整備

● 地域文化の普及、活動拠点となる既存の文化活動施設の計画的な改修及び維持管理に努めます。

#### ② 文化活動団体の育成

- 文化団体・サークルなどの育成と相互の交流を促進し、活動を支援します。
- 生涯学習ボランティアへの支援により、指導者の発掘・育成に努めます。

#### ③ 地域文化活動情報の発信強化

● 文化活動団体のイベントや活動の市民周知を図るとともに、芸術文化公演事業、文化イベントの広域 的な情報発信を進めます。

# 施策(2) 地域文化活動の支援

#### ① 芸術文化事業の推進

● 優れた芸術文化にふれる機会や楽しむ機会を充実するとともに、芸術文化事業の企画段階からの市 民参画を図り、事業実施を支える市民サポーターを支援します。

## ② 活動団体の発表と交流機会の充実

- 産業文化祭など文化団体・グループによる活動の発表機会の充実を図ります。
- 市内で活動している団体の活動報告をホームページで紹介するなど、団体の組織強化を支援します。

#### ③ 子どもたちの文化芸術体験企画の強化

● 芸術文化にふれる機会を提供するため、子どもたちの芸術や創作体験企画やデジタル博物館の活用による地域の歴史や郷土学習企画を推進します。

#### ④ 市内外の文化交流企画の推進

● 市内外の芸術文化、創作活動グループがともに参画するワークショップなど、文化交流企画の推進に 努めます。

# 施策(3) 郷土文化・芸能の保全と継承

#### ① 郷土の文化資源の掘り起こし

- 地域コミュニティ活動などと連携した郷土の文化資源、また、伝統行事や郷土芸能、伝統食、伝統技 術など地域固有の伝統文化の掘り起こし活動を支援します。
- 文化財を紹介する冊子・マップを活用したウォーキングなどの企画を推進します。

#### ② 文化財などの調査・保護・活用

- 貴重な文化財を次代に継承するため、文化財の周辺環境の整備など保護対策を推進します。
- 文化財などの活用による文化財保護思想の普及と郷土意識の高揚を図ります。
- 文化財などの情報を市内外へ向けて発信するとともに、周遊コースの設定など観光資源としての活用と市の魅力向上を図ります。

#### ③ 郷土文化の情報提供と公開

- 市で所蔵している郷土資料や文化財など、特別企画展を進めます。
- 文化財などの郷土の文化資源を紹介する冊子やマップの活用を促進するとともに、自然、歴史文化、 伝統産業など地域資料のデジタルデータ化を推進し、デジタル博物館の内容充実を図ります。

#### ④ 郷土芸能の継承支援

● 郷土芸能保存会活動を支援し、郷土芸能の継承に努めます。

#### ⑤ 郷土学習活動の推進

● 出前講座などと連携した郷土学習活動を推進し、歴史文化のガイドや講師の育成に努めます。

## ⑥ 専門職員の育成

● 文化財行政に対応する職員の育成に努めます。